

来月5、6日に室蘭と地元で初の講座

社会福祉法人幸清会



福祉・介護サービス講座の会場となるふる里の丘総合福祉館

増やそう介護を支える人材

洞爺湖

社会福祉法人幸清会（本部洞爺湖町、大久保幸積理事長）は来月5、6日、福祉・介護サービス講座「いつてみよう！やってみよう！みんなの介護」を開催する。高齢者福祉や介護サービスの意義などを伝え、マンパワーを必要とする同分野への理解を深めてもらう。参加無料。

（伊藤教雄）

5日は室蘭市絵鞆町の「みたらの杜」、6日は洞爺湖町清水の「ふる里の丘総合福祉館」で開催。両日とも定員は60人。高校生以上で誰でも受講できる。開講時間は午後1時～同4時。

当日は主催者あいさつに続き、あすか福祉用具貸与事業所（北広島市）の傳法晴夫さんが「福祉用具の基礎知識」をテーマに講演。

ふる里の丘総合福祉館に入居する特別養護老人ホーム幸楽園の鈴木卓也施設長（日本スウェーデン福祉研究所認

定インストラクター）がセミナー「北欧に学ぶ体験介護」の講師を務め、新たな介護方法として注目されている「タクティールケア」を紹介する。

介護実技や福祉用具展示会、福祉サービス相談、パネル展示の各コーナーも設ける。

幸清会は西胆振の各市町で介護老人福祉施設を経営し、利用者一人一人に適した介護サービスを提供。こうした経営理念、運営ノウハウに基づく福祉・介護サービスへの理解を深めてもらうため、地域住民対象の同講座を初めて企画。来月以降も継続開催し、「若い人たちにも関心を持ってもらい、この分野に多くの人材を呼び込みたい」としている。問い合わせはみたらの杜（電話0143・26局2700番）、幸楽園（同0142・76局4309番）へ。

住民理解の醸成願